

授業改善研修会

国語

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和7年度学校教育の指針
～「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」～
- 2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景
- 3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を
具現化するために～本日の二つの授業を基に～

群馬県教育ビジョンと令和7年度学校教育の指針

エージェンシーを発揮する

「自律した学習者」へ

～「群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)」の実現に向けて～

幼児教育施設から高等学校まで、全ての学校園で取り組みます

自分で学びをつくりたい
自分だけの力で
解決したい

失敗してもいい
自分の力で
頑張ろう

学校生活の中で、客観的な子供たちの姿が溢れるといいですね。そのためには、子供たち一人一人がエージェンシーを発揮する自律した学習者になっていくことが大切です。

エージェンシー？ カナダで分らない。自律した学習者？ また新しいことをしなければいけないの？

でも、実際は、こんな感じの子が多いよ...

間違えているかもしれないから黙っていろ。
言われたことだけやればいいわ。

エージェンシーとは、「人が物ごとを生み出して持っている自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力」です。学ぶ内容は、幼稚園教育要領や学習指導要領に示されている内容であり、これまでと変わりません。今、私たち教師に必要なのは、子供たち自身の力を信じ、学びの転換を図ることです。

一貫型の課題を受けるだけの受動的な学び → 主体的で他者と協働した学び(主体的・対話的で深い学び)

自己決定
対話・交流
試行錯誤

子供たちの力を信じるということとは、学習の進め方や方法を全て任せて、教師は放任するという意味ではありません。問題を解決していく学びの中で、右に示した態度を意図的に取り入れていくことが大切です。詳しくは別冊をご覧ください。

私たち教師もエージェンシーを発揮し、新しい行事に前向きに取り組む、チャレンジする姿勢や、変わりゆく状況に柔軟に対応できる資質・能力を身に付けていきたいと思います。

●群馬県教育委員会 平田郁美教育長からのメッセージ●

子供たちは、生まれながらにして自分と社会をより良くしようと願う意志を原動力にして、積極的に成長しようとする力を持っています。この力を生かした教育の実現に向けて、失敗を恐れず、試行錯誤しながら取り組んでいきたいと思います。

令和6年3月 群馬県教育委員会
(エージェンシーを発揮するための学びを推進するリーフレット)

メッセージ動画はこちら

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
- 教師は見守りつつ、適切な支援(意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意識した発問等)を行いましょう。

※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

《取り入れたい場面》

自己決定 自己決定 当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む
対話・交流 対話・交流 自分の考えを上げ、他者との共感や理解を深める
試行錯誤 試行錯誤 失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く

エージェンシーを発揮(自律した学習者)

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面

友達の絵と長さを比べたいな。でも動かすと粘土が切れちゃう...

リボンを使えば比べられるぞ。鉛筆も半分でも比べられるかも...

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

●水遊びの場面(水遊びおもちゃ)

昨日、先生がくじらから水を出していたな。

水が出ないな...

出た！

子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の素地となる遊びが自然に行われます。

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面

自分は実際に実験をして確かめたけれど、友達のように前に学んだ課題を使っても予想が合っているといえそうだな。

様々な方法で考えたことを交流する良さや味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

●1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面

友達の絵と長さを比べたいな。でも動かすと粘土が切れちゃう...

リボンを使えば比べられるぞ。鉛筆も半分でも比べられるかも...

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

●水遊びの場面(水遊びおもちゃ)

昨日、先生がくじらから水を出していたな。

水が出ないな...

出た！

子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の素地となる遊びが自然に行われます。

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面

自分は実際に実験をして確かめたけれど、友達のように前に学んだ課題を使っても予想が合っているといえそうだな。

様々な方法で考えたことを交流する良さや味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

変化の激しい社会を自分の力で歩いていける人

高等学校

ポイント

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

●英語コミュニケーション！課題について考察する場面

私たちの身近な地域の課題ってどんなことがあるかな？

誰もが住みやすい町にするには、どうしたらいいかな？

Solutions
To pave gravel roads
(To make a slope)
To make a slope

私たちの町は高齢化が進んでいるよね。

実社会における課題を自分事化し、分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

地域や社会を調べ、試行錯誤しながら課題の解決につながる提言をすることができました。

ポイント

探究意欲(ワクワク感)を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

中学校

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面

自分は実際に実験をして確かめたけれど、友達のように前に学んだ課題を使っても予想が合っているといえそうだな。

様々な方法で考えたことを交流する良さや味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

●1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面

友達の絵と長さを比べたいな。でも動かすと粘土が切れちゃう...

リボンを使えば比べられるぞ。鉛筆も半分でも比べられるかも...

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

●水遊びの場面(水遊びおもちゃ)

昨日、先生がくじらから水を出していたな。

水が出ないな...

出た！

子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の素地となる遊びが自然に行われます。

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面

自分は実際に実験をして確かめたけれど、友達のように前に学んだ課題を使っても予想が合っているといえそうだな。

様々な方法で考えたことを交流する良さや味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

行事等

新校制について

生徒主体で校則を規定する生徒会活動

自分で事業費を付けて決める職場体験

新しい地域づくりを目指す花植えボランティア

ポイント

活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意義を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

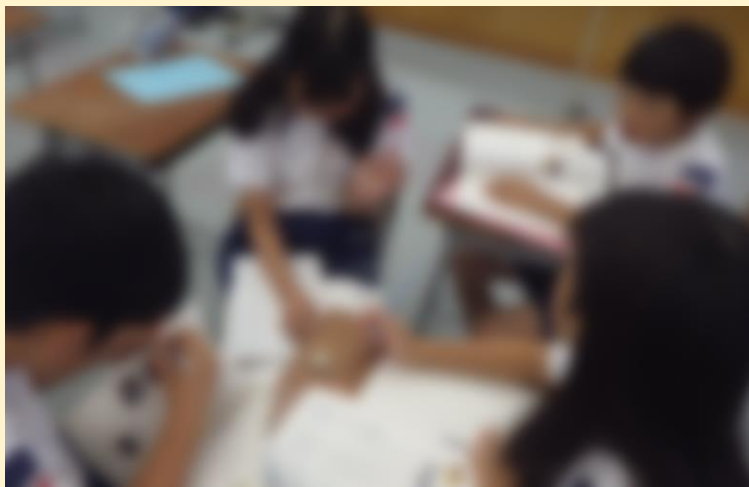
上記の場面はあくまでも一例です。総合的な学習(探究)の時間と行事等は、どの校種にも置き換えて考えることができます。

I 群馬県教育ビジョンと令和7年度学校教育の指針

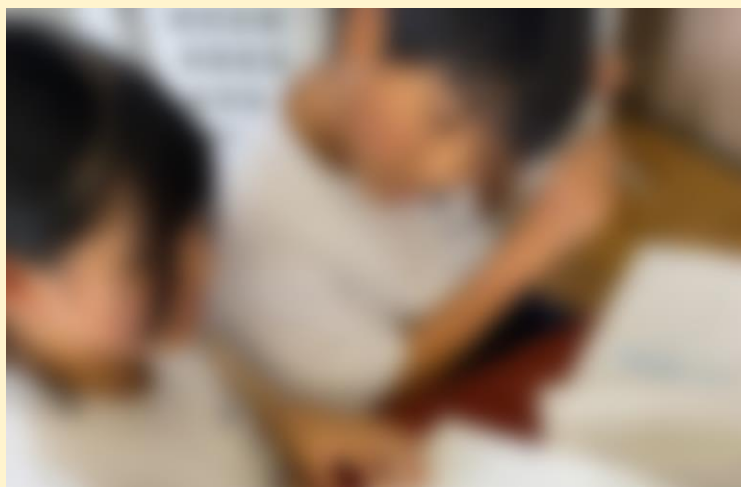
学校教育の指針

特に現れてほしい子供の姿

追究の過程において、言葉への気付きを手掛かりに、課題解決に向けた考えを繰り返し問い直している



(公開授業では)リーフレットに用いられている情報同士の関係に着目し、昭和村の魅力とその根拠となる事例とのつなげ方や並べ方に気を付けながら、リーフレットを詳しく書き直し続けている。



(公開授業では)で選んだテーマに基づいて、「竹取物語」を読み、本文や資料、友達との対話を繰り返しながら、「竹取物語」の魅力についての考えを確かなものに行っている。

授業作りのポイント

- ・主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する。
- ・児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

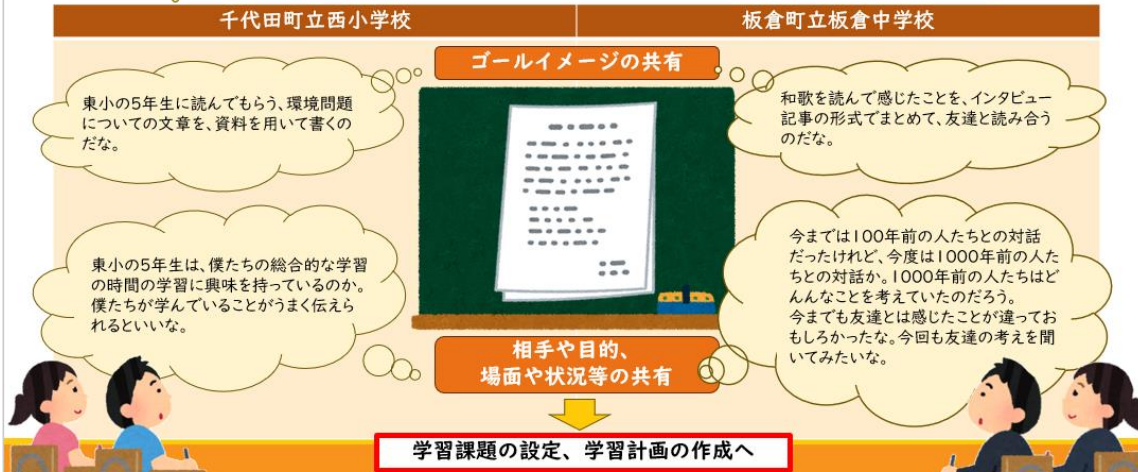
2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

昨年度の取組から

- 課題を自分事化できるように、単元の課題や単元の計画を見童生徒と一緒に設定した。
- 見童生徒が自ずと協働し、試行錯誤できるように、見童生徒が活動する時間を十分に確保した。

重点① 指導事項に基づいた必要感のある言語活動を、見童生徒と共有する

言語活動との出会い方を工夫する



重点② 理解したり、表現したりした言葉に立ち返るきっかけとなる発問や問い返しを行う

主たる指導事項で言葉に立ち返るためのかわり（直接的な手立て）

学習状況を整理するためのかわり

- 単元の課題の解決状況を整理する
 - ・その考えは課題とどうつながりそう？
 - ・あと何ができれば解決しそう？
- 本時のめあての達成状況を整理する
 - ・今分かっていることは？
 - ・まだはっきりしていないことは？
 - ・何に困っていますか？
 - ・みんなで考えたいことはありますか？

考えを問い直すきっかけを与えるためのかわり

- 抽象と具体を行き来する機会をつくる
 - ・例えばどういうこと？具体的に言うと？
 - ・つまりどういうこと？一言で言うと？
- 根拠を問う
 - ・どの言葉（文、資料等）からそう考えたの？
 - ・どの部分に着目したの？
- 理由を問う
 - ・どうしてそう考えたの？
 - ・なぜそう言えるの？
- 比較を促す
 - ・二つの考えの似ているところは？
 - ・二人の読み方の違うところは？
- ゆさぶる
 - ・それって、本当にそうかな？
 - ・ほかの場面でも言えそう？

- 課題の解決に向けて、活動をし続け、自らの考えを更新する姿が見られた。
- 見童生徒が、より一層、育成したい資質・能力を意識し、言葉による見方・考え方を働かせながら学べるようにしたい。

2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

言葉による見方・考え方を働かせる

対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること

【言葉による見方・考え方】

言葉で表される話や文章を、意味や働き、使い方などの言葉の様々な側面から総合的に思考・判断し、理解したり表現したりすること、また、その理解や表現について、改めて言葉に着目して吟味すること

学習指導要領解説国語編(小:p.154 中:p.132)より

2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

言葉による見方・考え方を働かせる

最後の場面、兵十は怒っていたね。

くりやまつたけをくれたのがごんだと分かったとき、兵十はショックだったよね。

兵十はどのくらい怒っていたのだろう？



何がそんなにショックだったのかな？

【言葉による見方・考え方】

言葉に意識が向くような意図的な問い掛け

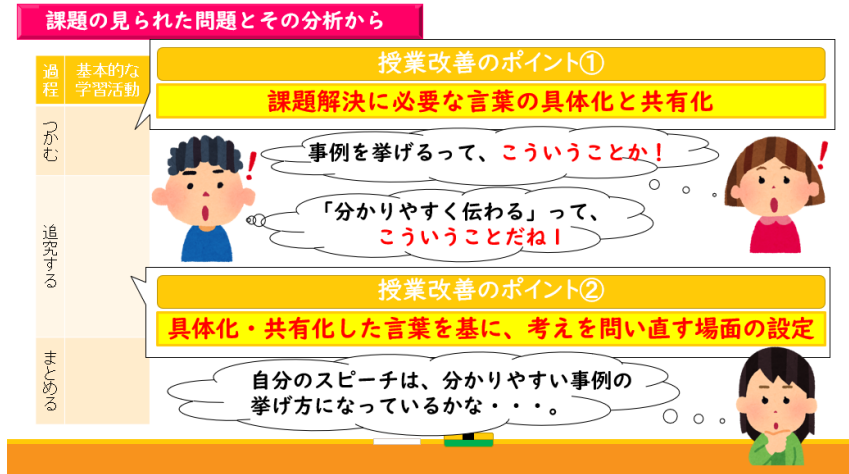
「こないだうなぎをとったあのごんぎつねが」ではなくて、「こないだうなぎをぬすみやがった、あのごんぎつねめが…」って、すごく怒っているよね。

しかも、「足音をしのばせて近よって」って、ごんを逃がすつもりがないということだよ。

「土間にくりが固めておいてある」って、ごんは丁寧に心を込めて置いたのだね。兵十が立ち上がって火なわじゅうを取って火薬をつめて、そうっと近よってうつまで、ずっとくりを固めていたのかな。兵十はうってしまったあとにそれに気付いたんだよね。

2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

全国学力・学習状況調査の結果から



「つかむ」過程で
主たる指導事項を具体化



「追いつめる」過程で
具体化した主たる指導事項に
関わる問い直し

知識及び技能 (文や文章)	思考力、判断力、表現力等 (構造と内容の把握)
(第1学年及び第2学年) 主語と述語との関係に気付くこと	場面の様子や登場人物の行動など、 内容の大体を捉えること
(第3学年及び第4学年) - 主語と述語との関係について理解すること - 修飾と被修飾との関係について理解すること - 指示する語句と接続する語句の役割に ついて理解すること - 段落の役割について理解すること	登場人物の行動や気持ちなどに ついて、叙述を基に捉えること
(第5学年及び第6学年) - 文の中での語句の係り方や語順について 理解すること - 文と文との接続の関係について理解すること - 話や文章の構成や展開について理解すること - 話や文章の種類とその特徴について 理解すること	登場人物の相互関係や心情などに ついて、描写を基に捉えること

関連を図る

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

これからお話しすること（本日の結論）

特に現れてほしい子供の姿

国語

○追究の過程において、
言葉への気付きを手掛かりに、
課題解決に向けた考えを
繰り返し問い直している

各教科等の授業づくりのポイント

- ・主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する。
- ・児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

安心して途中経過を共有できる

※「聴き合う」関係性を重視

言葉による見方・考え方を働かせて自分なりに理解・表現をしている

※わからなさ、困り感も考えのうち

自分なりの理解・表現がゆらぐ

※意外性、あいまいさ、ずれ等への気付き



チェック ✓

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

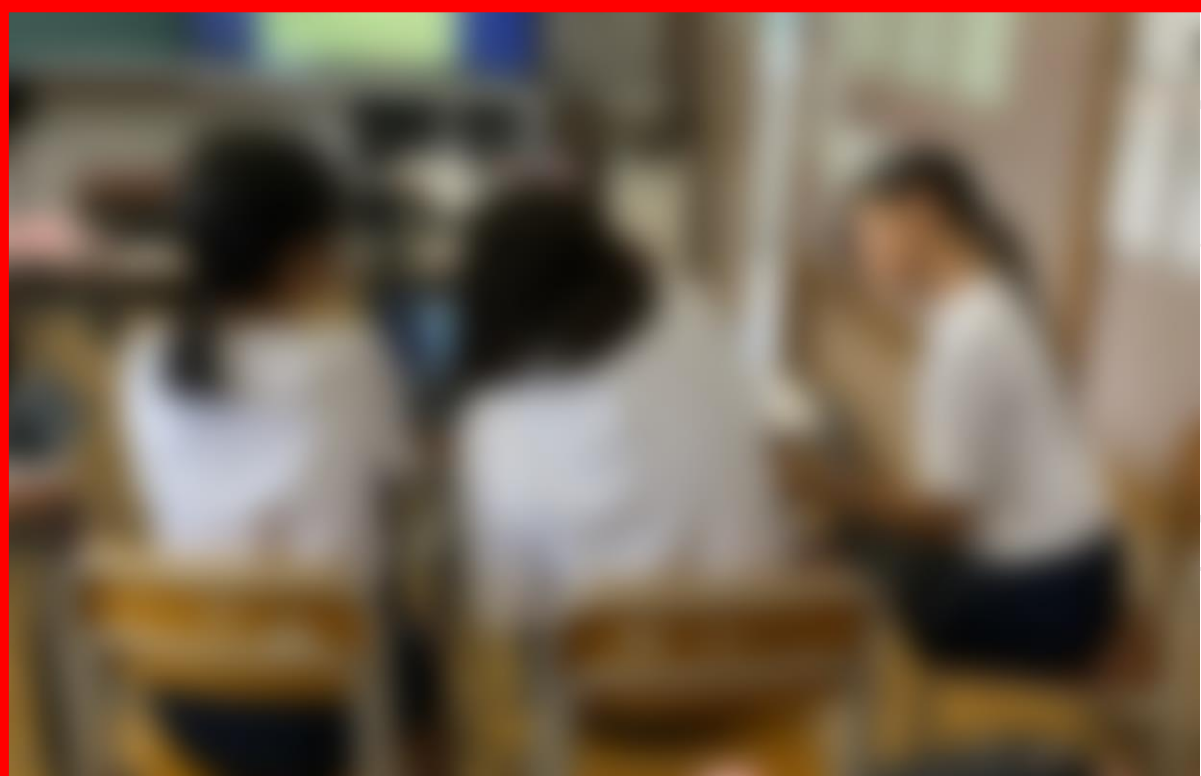
これからお話しすること（本日の結論）

特に現れてほしい姿と授業づくりのポイント

国語

安心して途中経過を共有できる

※「聴き合う」関係性を重視（共同注視）



互いの理解・表現したことを見ながら考えを共有している



互いの顔を見ながら考えを共有している

授業づくりのポイントから



主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、
課題解決までのイメージを児童生徒と共有する。



児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる
「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント①

主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

育成したい資質・能力を具体化する

特に現れてほしい子供の姿

東小

追究の過程において、言葉への気付きを手掛かりに、
課題解決に向けた考えを繰り返し問い直している

昭和中

B 書くこと

リーフレットに用いられている情報同士の関係に着目し、昭和村の魅力とその根拠となる事例とのつなげ方や並べ方に気をつけながら、リーフレットを詳しく書き直している。

C 読むこと

自分で選んだテーマに基づいて、「竹取物語」を読み、本文や資料、友達と対話しながら、「竹取物語」の魅力についての考えを確かなものになっている。

同じように書く活動を行っていても、育成を目指す資質・能力が異なる

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント①

主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

東小

育成したい資質・能力を具体化する

昭和中

知識及び技能

(2)ア 情報と情報との関係

考えとそれを支える事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。

思考力、判断力、表現力等

B書くこと(1)ウ 考えの形成、記述

自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。

知識及び技能

(3)ア 伝統的な言語文化

音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。

思考力、判断力、表現力等

C読むこと(1)オ 考えの形成、共有

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント① 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

東小

育成したい資質・能力を具体化する

知識及び技能

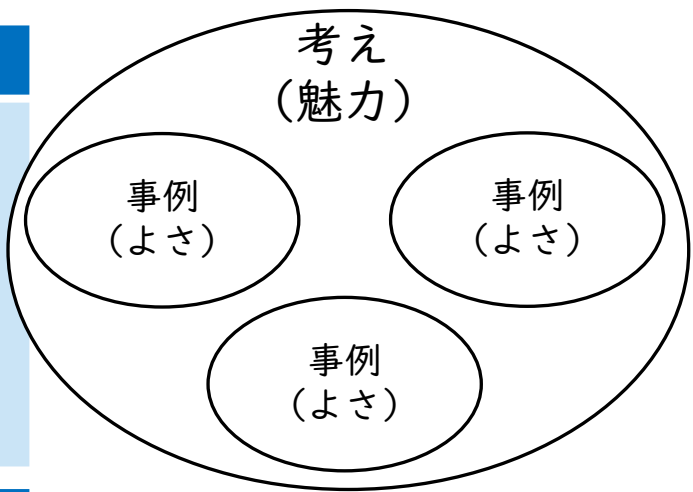
(2)ア 情報と情報との関係

考えとそれを支える事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。

思考力、判断力、表現力等

B書くこと(1)ウ 考えの形成、記述

自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。



終わり	中		はじめ

魅力は〇〇です。写真①のように～。例えば～。

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント①

主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

育成したい資質・能力を具体化する

昭和中

歴史的仮名遣いについて知っている。
歴史的仮名遣いを含む古文を音読できる。

「竹取物語」の古文の部分を
楽しみながら繰り返し音読している。

描写を基に捉えた場面の展開や
登場人物の相互関係、心情の変化など
場面と場面、場面と描写などを
結び付けて解釈した内容、
根拠を明確にして考えた表現の効果 等

知識及び技能

(3)ア 伝統的な言語文化

音読に必要な文語のきまりを知り、古文を
音読し、古典特有のリズムを通して、古典
の世界に親しむことができる。

思考力、判断力、表現力等

C読むこと(1)オ 考えの形成、共有

文章を読んで理解したことに基づいて、自
分の考えを確かなものにすることができる。

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント①

主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

育成したい資質・能力を具体化する

国語の学習にも
指導事項の
積み重ねがある



C 読むこと

小学5・6年

構造と内容の
把握

精査・解釈

考えの形成

共有

C 読むこと

中学1年

構造と内容の
把握

精査・解釈

考えの形成、
共有

前の学年に戻る

前の過程に戻る

※学習過程は指導の順序性を示すものではない

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント① 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

東小

指導事項に焦点化した計画

昭和中

B 書くこと

題材の設定

情報の収集

内容の検討

構成の検討

考えの形成

記述

推敲

共有

一度理解したり
表現したりしたことを
問い直す余地のある
計画を立てる

C 読むこと

構造と内容の
把握

精査・解釈

考えの形成、
共有

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント① 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

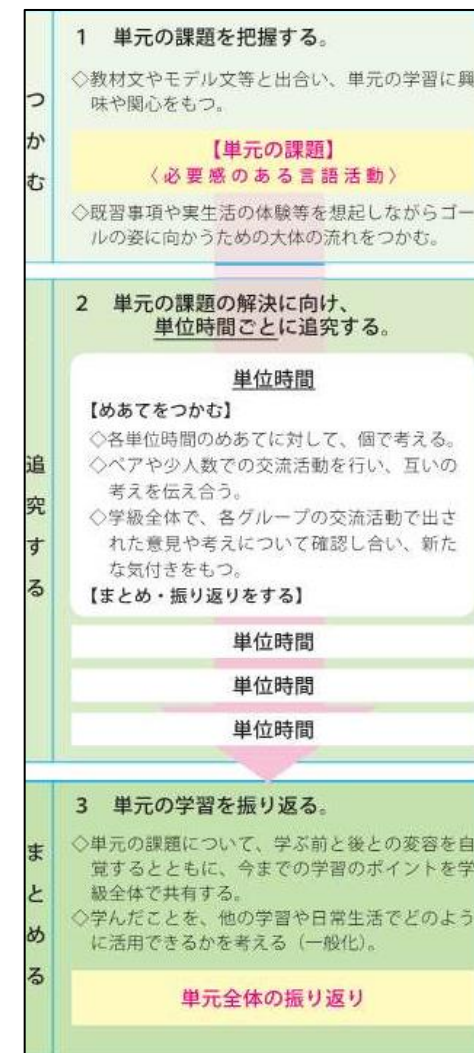
本時までの経緯①（スライド20～25）

「つかむ」過程で大切にしたことは・・・

必要感のあるストーリーを共有する

単元のゴールイメージを提示する

ゴールまでの計画を立てる



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント① 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

東小

必要感のあるストーリーを共有する

1学期にも交流したK県のK小学校が、また来年も来たくなるように、昭和村の魅力を書いて伝えますか？
みんなが伝えた魅力をめあてに来てくれたらうれしいですね。

やりたいな

やれそうだな

やるべきだな

相手意識・目的意識を明確にし、必要感を高める



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント① 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

東小

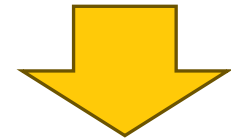
単元のゴールイメージを提示する

主たる指導事項に焦点化したモデル文の提示

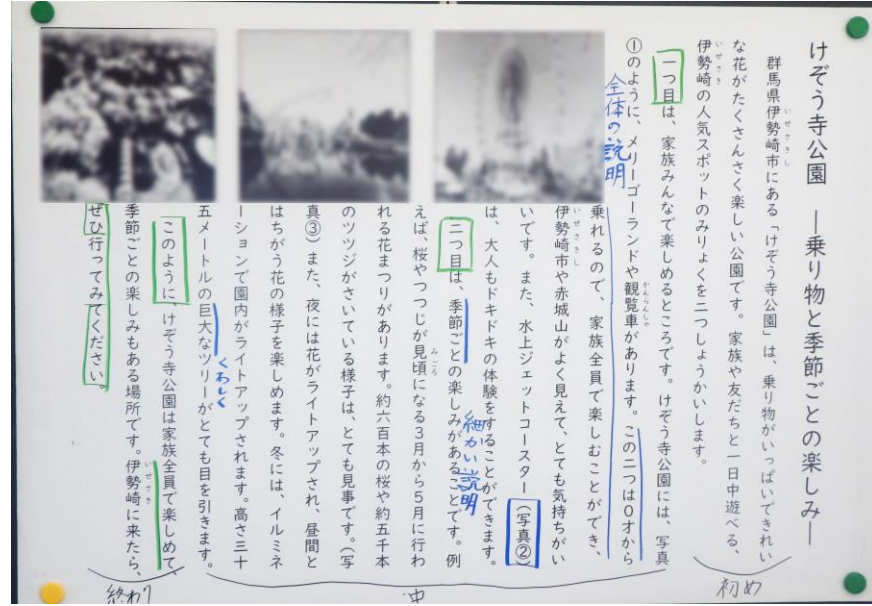
〇〇楽しそう！

〇〇市行ってみたい！

主たる指導事項
を具体化



単元の課題
K小の〇年生に昭和村の
みりよくが伝わるように、
みりよくと具体例が
はっきり分かる
リーフレットを書こう。



どうして
行ってみたいと
いう気持ちに
なったのかな。

楽しそうなものが詳しく書かれて
いたからかな。
「例えば」や「このように」などの
言葉を使っているから、どこに何
が書いてあるかわかりやすいな。



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント① 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

必要感のあるストーリーを共有する

昭和中

小学校の先生から、中学校で勉強した古典の面白さが伝わるようなポップを作してほしいという願いがありました。みんなの作ったポップで古典を手にする子が増えたらすごいことですね。

やりたいな

やれそうだな

やるべきだな

相手意識・目的意識を明確にし、必要感を高める



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント① 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

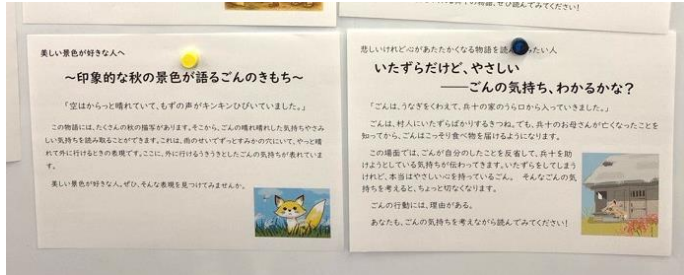
単元のゴールイメージを提示する

昭和中

主たる指導事項に焦点化した複数のポップの提示



面白さが伝わるポップを作るには何を学ぶ必要があるかな。

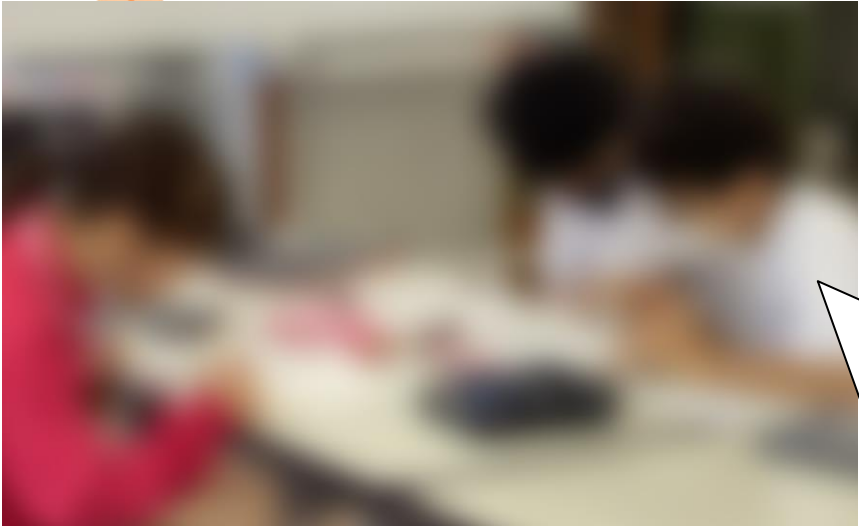


主たる指導事項を具体化



「登場人物の魅力」「ストーリーの魅力」「表現の魅力」など、いろいろな魅力があるんだな。まずはよく読んでから自分なりの魅力を見付けなくてはならないな。そのめには、古典の読み方も勉強する必要があるね。

単元の課題
古典の物語を読んで理解したことから、自分の考えを明確にして、古典を知らない小学校高学年のみんなに「竹取物語」の魅力を伝えるポップを作ろう。



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント① 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

「単元の課題」の考え方

【 A 】 をして(～ができるように)、
【 B 】 をする。

A→(1)主たる指導事項 身に付けさせたい資質・能力

B→(2)言語活動 例を参考に児童生徒の実態に合った言語活動

〈例〉

- ・「事例を挙げて相手に分かりやすく伝わるように、学校生活の楽しさをスピーチしよう」
- ・「図表やグラフを効果的に使って、自分の考えを伝える環境ポスターを作ろう」
- ・「登場人物の設定や物語の展開の仕方に着目して、『やまなし』の魅力を伝え合おう」

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント① 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する

東小

児童生徒と学習計画を立てる

昭和中

学習計画	めあて
単元のゴールを考え、単元の見通しをもつ。	
昭和村のみりよくについて、情報をふせんと図に整理する。	
図に整理したことを、下書きにまとめる。	
みりよくと具体例の書き表し方をけんとうする。	
昭和村のみりよくをリーフレットにまとめる。	
リーフレットを読み合って感想を伝え合い、単元をふり返る。	

単元のめあて
物語の内容を理解し、自分の考えを明確にして、古典を知らない小学校高学年に「竹取物語」の魅力を伝えるポップを作ろう。

✓1時間目：「竹取物語」を読んで、気づいたことを伝え合おう。

✓2時間目：単元のめあてを立て、学習計画を立てよう。

3時間目：物語の中から魅力を探そう。

4時間目：魅力を伝えるポップを作ろう。

5時間目：ポップについて友達と交流し、ポップを更新しよう。

6時間目：ポップを完成させ、紹介し合おう。

自己決定

対話
交流

試行
錯誤

教師が提案→児童と修正

生徒と一緒に相談しながら作成

授業づくりのポイントから

- ☐ 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する。
- ☒ 児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント②

児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

問い直しを促す「かかわり」について

前提①

安心して途中経過を共有できる

※「聴き合う」関係性を重視

前提②

言葉による見方・考え方を働かせて自分なりに理解・表現をしている

※わからなさ、困り感も考えのうち

その上で

自分なりの理解・表現がゆらぐ

※意外性、あいまいさ、ずれ等への気付き



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント②

児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

問い直しを促す「かかわり」について

自分なりの理解・表現がゆらぐ

※意外性、あいまいさ、ずれ等への気付き

- ・比較対象を提示して違いを問う
- ・根拠となる言葉を問う
- ・言葉同士の関係を問う
- ・理解や表現の必要性、適切さを問う
- ・説明・言い換えを促す
- ・別の視点を与える 等

言葉による見方・考え方が働くように

[R6授業改善プロジェクト授業改善研修会資料参照](#)

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

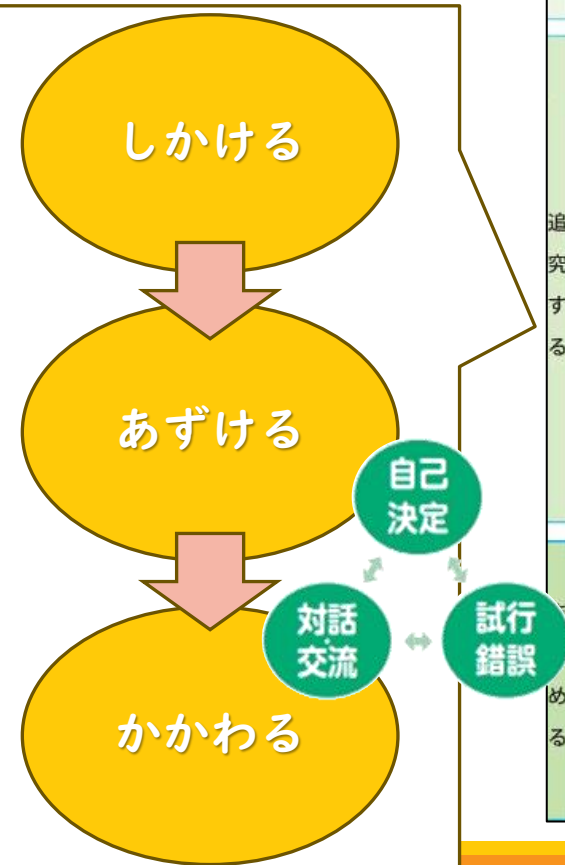
ポイント② 児童生徒が言葉に立ち返り**再考**したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

本時までの経緯②（スライド30～32）

「追究する」過程で自走できるように・・・

＜「しかけ」の例＞

- 前時の学習の振り返りを基にした問題意識の明確化
- 追究内容や方法を焦点化する資料・モデルの提示
- 学習計画と問題意識を基に立てた本時のめあて
- 必要に応じてすぐに友達と関われる学習環境
- 課題意識の持続や解決の手助けとなる資料や教室掲示
- 更新し続けられる学習プリント等の工夫
- 達成状況や困り感を表出できる振り返り



つかむ

1 単元の課題を把握する。

◇教材文やモデル文等と出会い、単元の学習に興味や関心をもつ。

【単元の課題】
＜必要感のある言語活動＞

◇既習事項や実生活の体験等を想起しながらゴールの姿に向かうための大体の流れをつかむ。

追究する

2 単元の課題の解決に向け、**単位時間ごとに**追究する。

単位時間

【めあてをつかむ】

◇各単位時間のめあてに対して、個で考える。

◇ペアや少人数での交流活動を行い、互いの考えを伝え合う。

◇学級全体で、各グループの交流活動で出された意見や考えについて確認し合い、新たな気づきをもつ。

【まとめ・振り返りをする】

単位時間

単位時間

単位時間

める

3 単元の学習を振り返る。

◇単元の課題について、学ぶ前と後との変容を自覚するとともに、今までの学習のポイントを学級全体で共有する。

◇学んだことを、他の学習や日常生活でどのように活用できるかを考える（一般化）。

単元全体の振り返り

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント② 児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

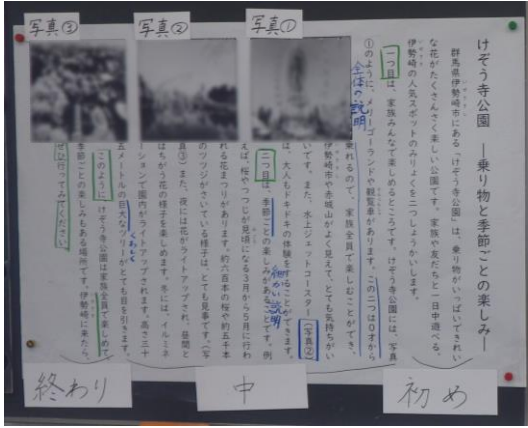
東小 問い直しを促す「しかけ」と「かかわり」の例（第2時）

課題意識の持続や解決の手助けとなる資料や教室掲示

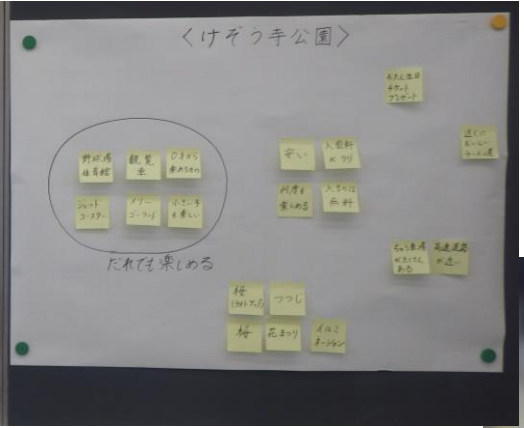
必要に応じてすぐに友達と関われる学習環境



理解や表現の必要性、適切さを問う



<単元の見通し>

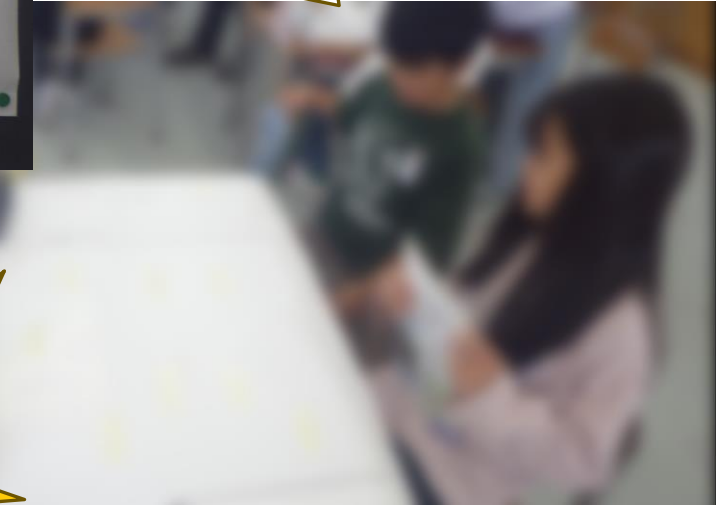


<本時の見通し>

「からあげ」とか「肉井」とかは「食べ物」という名前でまとめられそうだね。

まとめた名前はどこでどのように使えそうですか。

「食べ物」だと「一つ目は、食べ物です」って書くのかな。もう少し魅力が伝わる言葉の方がいいかもしれないね。



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント②

児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

東小

問い直しを促す「しかけ」と「かかわり」の例（第3時）

昭和村のみりよくを伝えよう③（下書き）

（前）

（中）

（後）

（下書き2）

（前） 桜がきれい つつじ イルミネーション	（中） 季節ごとの楽しみ だれでも楽しめる 0才から乗れるかんらん車 ジェットコースター	（後） 伊勢崎市には、けぞう寺公園があります。ここでは、けぞう寺公園のみりよくを二つしようかします。 だれでも楽しめることです。 かんらん車には0才から乗ることができるので、家族みんなで楽しむことができます。ジェットコースターもあるので、大人も楽しむことができます。
（下書き2） このようにけぞう寺公園は、とても楽しい公園です。ぜひ来てください。	（中） 季節ごとの楽しみがあります。 春には、桜やつつじがきれいにさきます。また、冬になると、イルミネーションも始まり、夜になるととてもきれいです。	

追究内容や方法を焦点化する
資料・モデルの提示

学習計画と問題意識を基に立
てた本時のめあて



自身の表現について
説明を促す

下書きの文章は
つながりがよくないな。
僕はつなぎ言葉を使って
書いてみよう。



めあて
つなぎ言葉の使い方をに気を付けて、
図に整理したことを下書きに表そう



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント②

児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

問い直しを促す「しかけ」と「かかわり」の例（第3・4時）

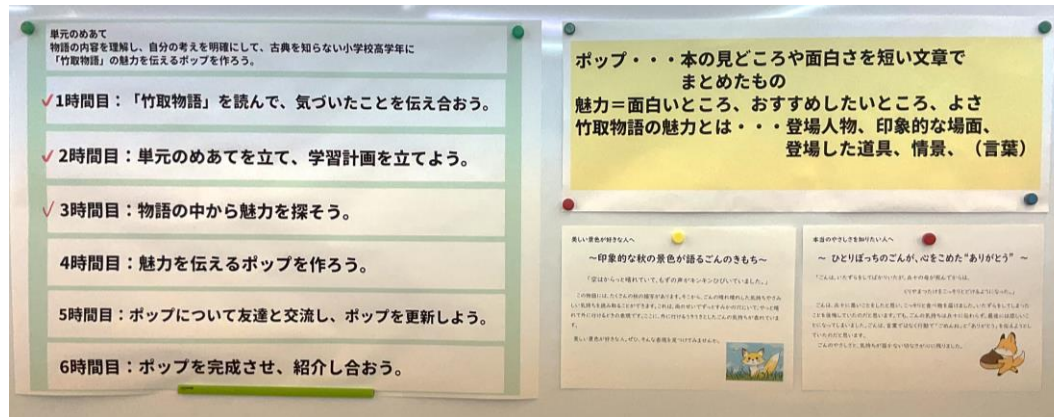
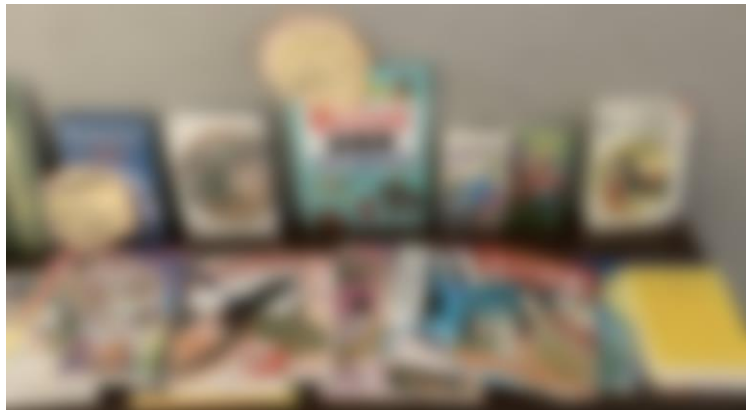
昭和中

課題意識の持続や解決の手助けとなる資料や教室掲示

必要に応じてすぐに友達と 関われる学習環境



別の視点を与える



この物語で一番
悲しんでいるのは誰？

翁は姫と家族になれてうれしかった分、最後は悲しい結末になったね。

この本を読むと、かぐや姫
が来てから、20年以上育
てたって書いてあるよ。



えっ？翁じゃないの？かぐや姫は別れの時冷静だしね。

あえてそうしているのかも。
かぐや姫のことも読み直
してみようか。



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント②

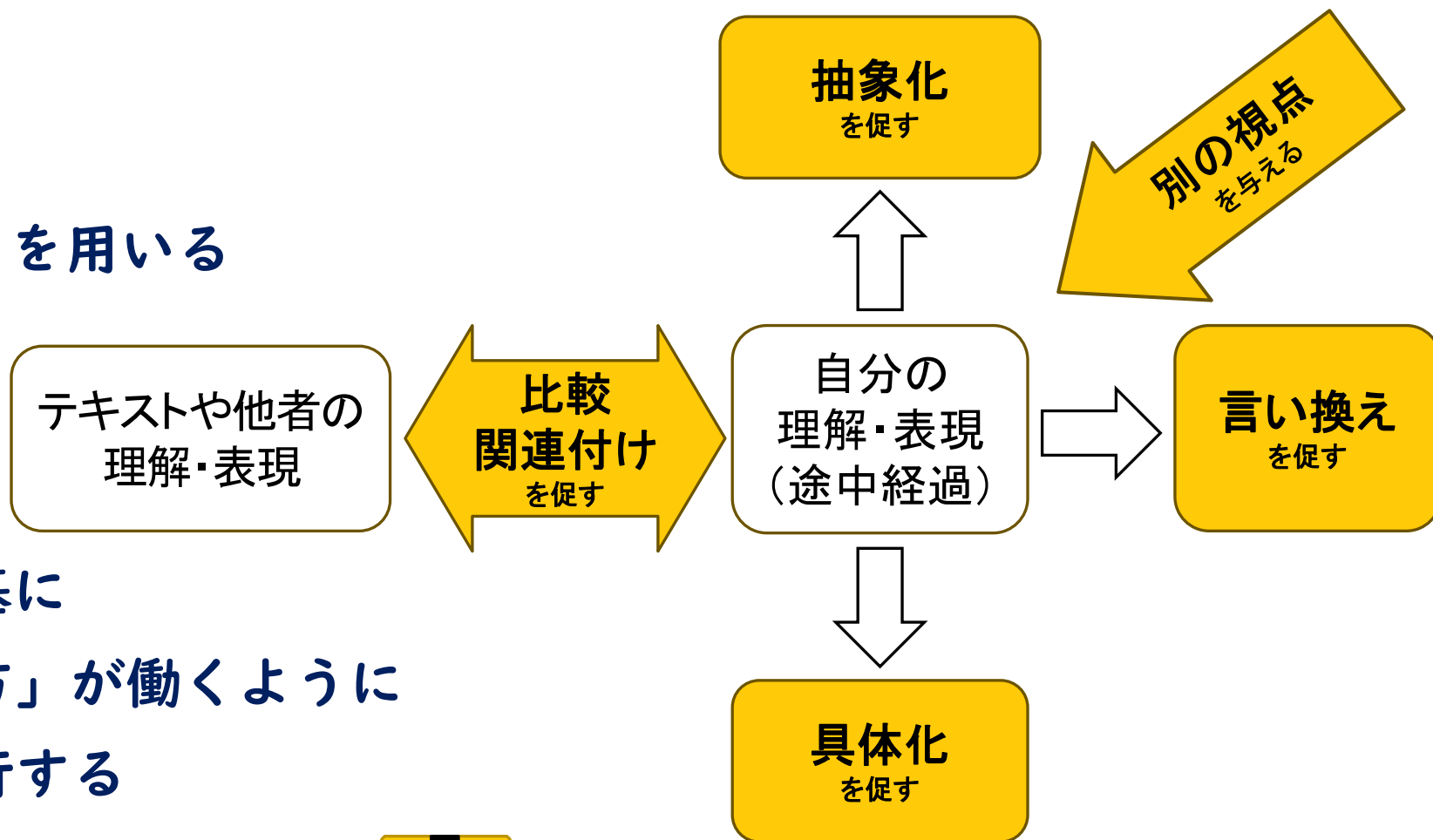
児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

問い直しを促す「かかわり」について

- 聴き合える関係性の中で
- あずけるための「しかけ」を用いる



- 目の前の児童生徒の姿を基に
- 「言葉による見方・考え方」が働くように
- 「かかわり」を判断・実行する



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント②

児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

東小

問い直しを促す「しかけ」と「かかわり」の例（本時）

姿

「二つ目のよさは、「体にいいこと」です。こんにやくはカロリーが低いので、たくさん食べても安心です。また、体にもいいです。」って書いてみたよ。

評価

「体にいい」という部分がもう少し具体的に書けるといいな。声を掛けるか、見守るか……。

関わり

（よし、声を掛けよう。

「体にいい」って、うれしいね。

例えば、どんな風に体にいいの？

（えっ？）

例えば、こんにやくには食物繊維がたくさん含まれているから、おなかきれいになるらしいです。

（ここまで書いた方が伝わりやすいな）



「見守る」という「かかわり」も、大切な選択肢の一つ

自己決定

対話
交流

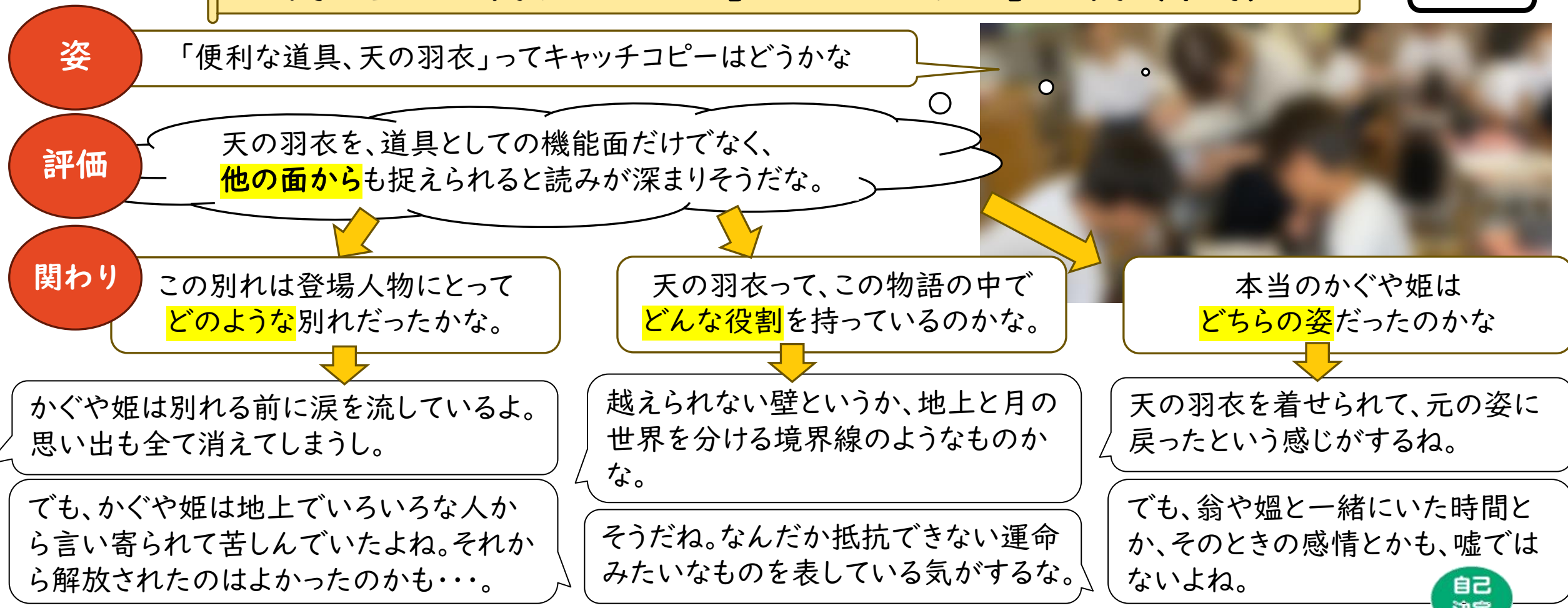
試行
錯誤

3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

ポイント② 児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

問い直しを促す「しかけ」と「かかわり」の例（本時）

昭和中

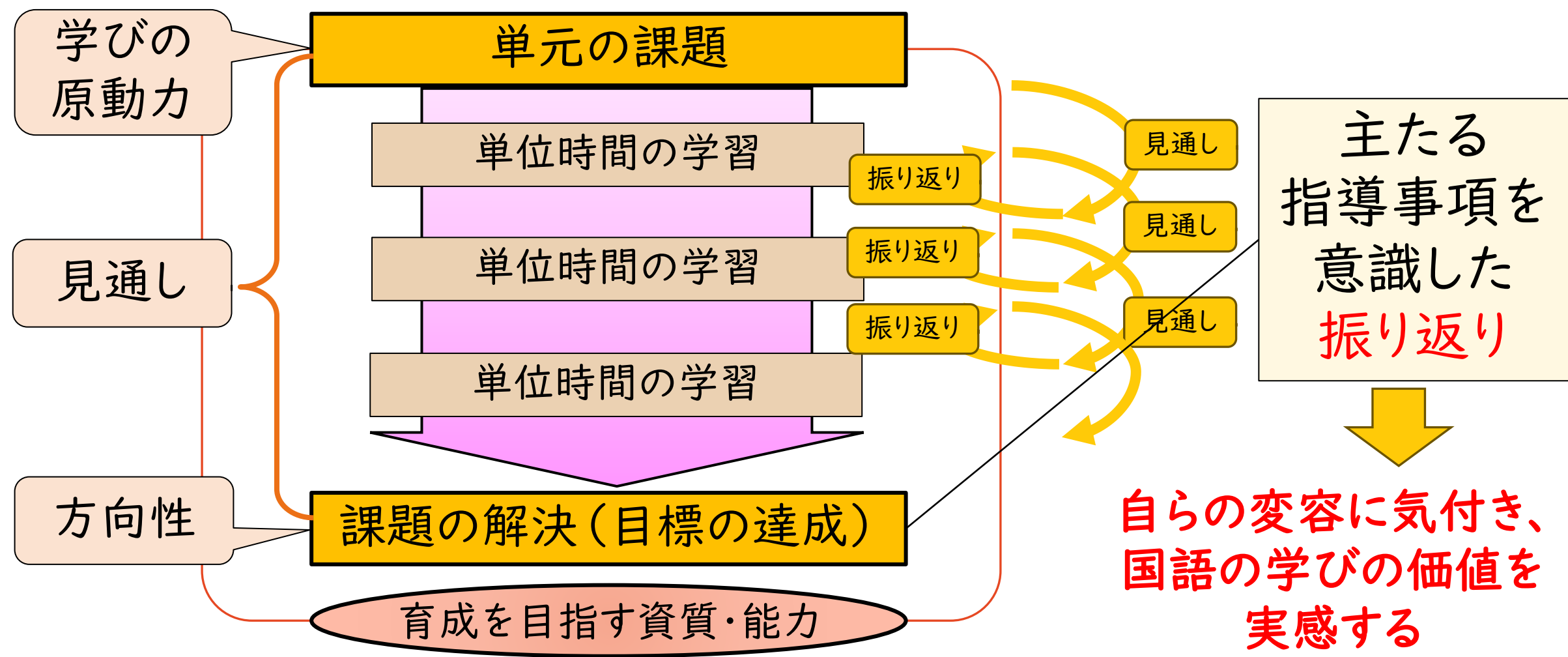


どの読みが正解ということではなく、言葉による見方・考え方を働かせた思考を促すことが重要



3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を具現化するために

単元全体のつながりを大切にする



まとめ

特に現れてほしい子供の姿

国語

○追究の過程において、
言葉への気付きを手掛かりに、
課題解決に向けた考えを
繰り返し問い直している

各教科等の授業づくりのポイント

- ・主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを見童生徒と共有する。
- ・見童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かかわり」を行う。

安心して途中経過を共有できる

※「聴き合う」関係性を重視

言葉による見方・考え方を働かせて自分なりに理解・表現をしている

※わからなさ、困り感も考えのうち

自分なりの理解・表現がゆらぐ

※新たな視点、意外性、あいまいさ、ずれ等への気付き

チェック 